

ユニコム 通信

Universal Community

Vol.55

ユニコムかつしか機関誌

<http://uck80.com>

シニアド資格取得養成講座が終了



- 2面・シニアド資格取得養成講座が終わる
 - ・亀有盆踊りに「うちわ作り」で参加
 - ・お知らせ
- 3面・向う三軒両隣「旭カレールウ ワタナベ食品さん」の巻
 - ・ふれあい「心の故郷」
- 4面・パソコン・クイズ
 - ・総務担当より
 - ・編集後記



亀有五丁目西町会の盆踊りで「うちわ作り」

産業フェアに参加・出展します

残暑お見舞い申し上げます。

まだまだ暑い日が続きますが、せめてこの紙面だけでも10月の風を吹かせましょう。例年、10月に行われる葛飾区産業フェアの話題です。

産業フェアは、区内産業の技術や生産品を広く多くの人に紹介して地域産業の活性化を図るとともに、次代をになう小中高生の社会学習の場とすることを目的として行われます。

昨年は東京理科大学を会場にして開催されましたが、今年はいつものテクノプラザかつしかが会場、10月16日(金)～18日(日)に工業・商業・観光展、10月23日(金)～25日(日)に農業・伝統産業展が行われます。今年のテーマは「躍進する葛飾の産業」。参加予定企業470社、目標来場者数延べ9万人の大イベントです。

ユニコムかつしかは、フェア前半の10月16日～18日の3日間に参加出展します。ブースはふだんパソコン講習会やパソコン利用相談を行っている2Fパソコンステーション。15台のパソコンをフルに活用し、来場者と一緒に楽しめる様々なプログラムを用意する予定です。

目玉は、葛飾ではまだほとんどお目にかかれないパーソナル3Dプリンターの展示・実演。これは3日間、いつでも動いているところを見られる状態にしておく予定です。クイズに正解された方に、その出力作品をプレゼントするお楽しみも。

ほかにも、新しいOSウィンドウズ10の操作体験、パソコンを使ってオリジナル作品を作るワークショップ、新グラフィック技術による最新ネットサイトの紹介などなど。また、3日間通じて、パソコンで困っていることなどが気軽に相談できるコーナーも設けます。

パソコンやIT機器は産業発展の中核を占めるとともに、ますます学校、職場、家庭でも重要になってきます。産業フェアにも、ぜひ多くの皆様にお出でいただきたい、スタッフと一緒に、見る、触れる、創るなどを体験していただきたいと願っています。

入場も操作体験もパソコン利用も作った作品のお持ち帰りも相談料もすべて無料です。ぜひ、この機会をお見逃しなく！

シニア情報生活アドバイザー 資格取得養成講座が終わる

今年で十年目を迎えた「シニア情報生活アドバイザー資格取得養成講座」は、6月6日(土)午後から新柴又教室が始まり、毎週土曜日午後3時間の講座が二カ月間8週連続で行われ、7月25日(土)に最終日を迎えた。講師は佐々木会員と五十嵐会員が務めた。

昨年までのこの養成講座は、ユニコムかつしかの立石事務所で行われてきたが、第21期となる今回は2年前にパソコン教室としてオープンした「新柴又教室」で行われた。新柴又教室は教室としての環境、設備が整っており、また今回は受講者が2名だったこともあり、より内容が充実したものとなった。

最終日は、それまでの講習内容を踏まえ、プレゼン、実技、筆記などの試験が行われ、その後、一般財団法人ユニコムメディア開発協会・生部様や大島代表の講評などがあり、続いて懇親会となった。

なお、お二人とも合格されました。おめでとうございます。今後のご活躍を期待いたします。



亀有の納涼盆踊り大会

好評「うちわ作り」で参加

恒例となっている盆踊りの「うちわ作り」、昨年は亀有の二方所の盆踊りに参加して「うちわ作り」を行ったが、今年は8月8日(土)に開催された亀有五丁目西町会のみに参加した。

この日は、8日間も連続していた記録的な猛暑も一息ついた感じで、暑さに苦しめられることもなく、また例年のように夕立に見舞われることもなく、参加した会員(石本、五十嵐、大島滋、佐々木、松田、松崎)6人は「うちわ作り」に集中できた。

今回は思わぬ、有難いハプニングもあったことで、休憩後の後半も注文が途切れず、19時30分ごろまでの予定が21時30分頃まで作業に追われ、「うちわ作り」にてんてこ舞いだった。

ハプニングがあったのは休憩中、参加者全員にアイスクャンディーが配られ、ほとんどの参加者がそれをほお張り始め、会場がシーンとなった時に、「うちわ作りをテントの下で行っています」と場内アナウンスがあったため、後半に注文が増える結果となった。

お知らせ

■6月6日から毎週土曜日、「新柴又教室」で始まった「シニア下資格取得講座」は7月25日で無事終了。

■7月の日商PC検定試験合格

◆データ活用2級/7月5日

◆プレゼン2級/7月16日

おめでとうございます。

■ユニコムかつしかは、10月16日(金)～18日(日)、テクノプラザかつしかで開催される「第31回葛飾区産業フェア」に出展する。場所は2階のパソコンステーションで、出展内容は「3Dプリンターの展示・実演」「パソコン利用相談」などの予定。

■11月23日(月・祝日)10～17時、健康プラザかつしか(子ども総合センター)で開催される、かつしか子育てネットワーク「子ども・子育てフスタかつしか2016」に参加。カレンダー作りを実施。

●ユニコムかつしかへのお問合せは左記まで

Tel 03-6905-8080

FAX 03-6657-6185

E-mail info@uc-knet

Web Site <http://uc80.com>

向う三軒両隣

ワタナベ食品さん

旭カレールウの巻

ユニコムかつしかは、地域のIT普及支援活動を行いながら、地域の「盆踊り」や、「子育てフェスタ」などにも積極的に参加し、地域とのきずなを大切にしながら活動しています。そこで、立石事務所近くの店舗や工場を訪ね、その魅力を紹介し、地域の皆様と生活情報を共有したいと、このコーナーを続けています。



今回は、前回の東京和晒創造館さんほど近い、葛飾では知る人ぞ知る、旭カレールウ専業のワタナベ食品さん（葛飾区立石4-15-3、☎03-3691-0922、www.asahicurry.com）をご紹介します。

まだ梅雨真っ盛りの、小雨降る7月の午後、立石4

丁目の町屋の建て込んだ一角にある、目立たない工場兼住宅のワタナベ食品さんを訪ねた。

忙しい作業の手を休めて取材に応じてくれたのは、三代目の渡邊正道（ただみち）さん。ちょうど発行されたばかりの葛飾のユニークな地域マガジン「ヨコガオ」2号

の記事を見せてくださって、カレー作りの様々な苦心談から奥深さまで、熱心に語っていただいた。

生の小麦粉、油脂、18種にも上るスパイスなどを直火釜に入れて攪拌しながら焙煎し、香りと手の感覚を頼りに、ルウを焼き上げる。ありふれた材料ばかりだが、品質にはこだわる。気温・湿度、材料の乾燥度など、条件の変化に応じて焙煎の火力や時間を加減する必要があり、機械化はむずかしいという。手間と時間を惜しみなくつぎ込んで、小麦粉の風味をルウに閉じ込める。生まもののルウを毎回一定の品質に仕上げるのは正に職人技だ。保存料は使わない。最後に使いやすさを考えてフレック状に加工して袋詰めする。



昭和22年に創業したのは、祖父の哲朗さん（故人）で、始めは配給小麦を加工する製麺所だったが、のち「生蕎麦 伊豆万」を開業、かたわらカレールウ製造の「旭食品研究所」を設立、「旭カレールウ」を開発した。「旭カレー本舗」を社名としたこともあるが、昭和51年「ワタナベ食品株式会社」と社名変更して現在にいたっている。

販売先は蕎麦屋さんなど飲食店・卸業者のみだったが、横須賀の海上自衛隊の一部にも納入しているという。近年はマスコミに取上げられる機会も多くなっているが、日本カレー発祥の一つ海軍の後身にも食い込んでいるのは、本物の証しといえるだろう。



通販もしているが、店舗はななく、ホームページで紹介された区内の取扱店があるほか、住宅側の入口付近にはご近所向けの販売コーナーがある。いかにも地域のつながりを大切にしている町の町工場の風情がある。

ふれあい

心の故郷

「出身はどちらですか？」と聞かれると、「生まれも育ちも東京です。でも、ルーツは佐渡島です。」と私は言う。

両親とも佐渡島出身ということだけではなく、佐渡の話や聞いた話、テレビで画像を見たりすると、私自身が「郷愁」を感じるからだ。

子供のころ、毎年夏になると佐渡島へ「帰省」していた。滞在期間は約一か月。出発当日の朝、3時起きで水戸街道でタクシーを拾い上野駅へ。汽車に乗り、清水トンネルを抜けると煤だらけ。やっと新潟までついて、ここからがまた長旅。

カーフェリーで島に到着するまでの二時間半、デッキの手すりにもたれてずっと海を見ていた。

佐渡で過ごす夏休みは最高だった。魚を手で簡単に掬えそうなくらいに澄んでいる海。むせかえるような稲の緑の香り。海辺に出した大きな縁台に座って見上げた花火。

佐渡にルーツがあるということは幸せだと思っている。それでは祖先は？となると、佐渡金山にいた罪人？ 政治犯？ 島流しにあった高貴な方々？とは言わないが、その付き人？と想像は膨らんだ。

従兄弟が昔、夏休みの自由課題でルーツをたどったら、「海辺で塩を作っていた人」ということだった。



ホッとしたりよくな、ちよつと残念なよう……
(加藤えり子)

■パソコンクイズ■

8月の問題

デジカメや携帯電話のカメラなどとても高性能になり綺麗な写真を撮ることが出来ます。パソコンに取り込んで編集や表示・印刷して楽しんでる方も多いですね。カメラ用語にも略語(頭文字)で表記されているものがたくさんあります。

今月は略語で表記されるカメラ用語に関するクイズです。それぞれの説明の中で空欄に入る単語を、選択肢の中から選んで完成させてください。

①「AE」自動()調整機構の「A」。

②「ISO 感度」撮像素子がどれだけ()に対して反応するかを数値化したもの。《ISO speed》

③「F値」レンズを通して撮像素子上に写る像の明るさのこと。()とも呼ぶ。《focal number》

④「RAW 画像」()からの出力を12ビットや14ビットで記録した画像。RAWとは「生」の意味。《raw image》

(a)被写体 (b)撮像素子 (c)パソコン (d)テレビ

※住所・氏名・年齢を明記の上、pcq@uc.knet まで回答をお送り下さい。

×切8月25日

◆前回(6月)の問題と回答◆

パソコンではデジカメ写真だけでなく、イラストなども扱い、それぞれに適した形式の画像ファイルがありますので、それを覚えておく適切な処理が行えます。今月はよく使う画像ファイル形式に関するクイズです。各々のファイル形式に対応するものとも適切な説明を一つずつ選んでください。

◆前回(6月)の問題と回答◆

◆前回(6月)の問題と回答◆

◆前回(6月)の問題と回答◆

◆前回(6月)の問題と回答◆

ユニコム通信 VOL.55 2015年8月15日発行(発行日:開封月15日)

発行元:特定非営利活動法人ユニコムかつしか 〒124-0012 東京都葛飾区立石3-30-18 発行責任者:大島 進 TEL:03(6905)8080 FAX:03(6657)6185

- ① BMP「ビューエムユー」(*.bmp)
- ② JPEG「ジャンペグ」(*.jpg/*.jpeg)
- ③ GIF「ジフ、ギフ」(*.gif)
- ④ PNG「パンク」(*.png)

(a) 自然色の多いデジカメ写真などに適し、境界のハッキリしたイラストなどには適していません。データを圧縮し、ファイルサイズを小さくできますが、保存を繰り返すことで画質は落ちていきます。

(b) 境界のハッキリしたイラストなどに適し、写真などには適していません。データを圧縮しますが、基本的に画質は落ちません。

(c) データを圧縮しないのでファイルサイズは大きくなりませんが、保存を繰り返しても画質は落ちません。

(d) データを圧縮して保存しますが、自然色の多い写真などでは圧縮率は高くありません。基本的に画質は落ちません。

【回答】①(c)、②(a)、③(b)、④(d)

【正解者】正解者多数の中から抽選により次の一名の方にUSBメモリーを差し上げます。

東京都葛飾区にお住いの大野健二様 おめでとうございます。惜しくも抽選に外れた方は、次回のクイズに挑戦して下さい。ご応募お待ちしております。

総務担当より

★コピーサービスは、カラーA4⇨30円、A3⇨50円、白黒A4⇨5円、A3⇨10円。

★ラミネート加工サービスは、A3⇨160円、A4⇨80円、B4⇨120円、B5⇨60円、はがき⇨40円、健康保険証⇨40円、名刺⇨40円です。

★ラミネート加工の機械とフィルムは、パソコン棚の一番下段に、取扱説明書はパソコン棚の横に差し込んであります。

★事務所の当番については、1か月に最低2回をお願いいたします。

会員募集中!

ユニコムかつしかはパソコンを活用した幅広い地域コミュニティ作りを目指しています。パソコンを教えたい人、習いたい人が共に勉強しています。パソコン指導者の養成や、個人レッスン、訪問サポートも行っています。お気軽にご相談ください。会員になると、個人レッスンが一般1時間1,500円から会員1,200円になるなど、割引料金になります。

IT・パソコンのことならユニコムかつしかへ!

- パソコン講習会
 - ・暮らしを彩るパソコン教室
 - ・たつみ憩い交流館講習会
 - ・ウェルピア講習会
 - ・テクノプラザかつしか講習会
 - えみふるPCサロン
 - 日商PC検定講座・試験実施
- 指導者養成講座
 - ・シニア情報生活アドバイザー
 - 個人レッスン・サポート
 - 訪問レッスン・サポート
 - Webサイト制作支援
 - ちらし・機関誌等制作支援

編集後記

10月発行予定のユニコム創立十周年記念号に会員様様の寄稿を「ふるさと」「思い出」「趣味」「パソコン」などのテーマでお願いした。自分としては「ふるさと」か「思い出」にしたいと悩んでいる。

出生地は熊本市だが、幼稚園から大分市に、小学校4年生で母の実家がある長崎県諫早市に転居し、そこで約9年過ごし、楽しく遊んだので、諫早が故郷のように感じ、また「思い出」も多い。しかし、大学で横浜に、卒業後も含めて横浜に約10年住み、恋愛以外の青春を謳歌したので良い「思い出」は横浜の方が多し。住んでいる頃は第二の故郷と思っていた。ところが、葛飾に住んで30年、ユニコムの活動が良い思い出になればいいなと思っている。(行)